

“事業報告特集”

目次

□巻頭言 建設業と機械化……………石上立夫／1
九州支部長 秋竹敏実君の死を悼む……………最上武雄／3

□社団法人日本建設機械化協会の事業活動
社団法人日本建設機械化協会定款……………／5
各部会・専門部会・建設機械化研究所の動き……………／7

□部会研究報告
油圧作動油の機械に及ぼす影響……………機械技術部会・潤滑油研究委員会／18

□昭和51年度官公庁の事業概要（その1）
建設省の事業概要……………遠藤健夫／27
国土庁の事業概要……………棟本修司／32
日本道路公団の事業概要……………石川昭雄／37
首都高速道路公団の事業概要……………三宅松茂／41
阪神高速道路公団の事業概要……………倉橋天鍬彦／44
本州四国連絡橋公団の事業概要……………尾仲章／47

グラビア——最近の官公庁の事業

水資源開発公団の事業概要……………山口温朗／49
日本住宅公団宅地開発事業の概要……………山下泰輔／52
宅地開発公団宅地開発事業の概要……………江藤末信／54
地域振興整備公団の事業概要……………富田耕太郎／56
日本下水道事業団の事業概要……………辻栄一／59

□随想“要領”考……………中岡二郎／62

□建設機械の現状

2. 荷役機械

2.1 タワークレーン……………松本重人／64
2.2 トラッククレーン・ホイールクレーン……………桜井鉄也／66
2.3 工事用エレベータ……………本田忠義／69
2.4 屋上用簡易クレーン……………大野太一／71

□部会研究報告

’74.11～’75.11 までに開発された新機種調査報告——2……………調査部会・新機種新工法調査委員会／74

□文献調査

文献目録紹介……………広報部会・文献調査委員会／80

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移……………調査部会／82
ニューズ……………(編集部)／36／58
行事一覧……………／83
編集後記……………(合田・中田)／84

◀表紙写真説明▶

三井ロードプレーナ

MT 46-12

三井造船株式会社
株式会社 三井三池製作所

最近の道路事情は、車両の大型化、交通量の激増により舗装路面の損耗、不陸性が著しく、このため、短時間に、経済的に、しかも交通を全面的に遮断することなく路面を補修し、規定断面に回復する施工法として路面切削工法が脚光をあびてきた。

本機はこのような要請に即応して機動性、経済性、機能性を重視して騒音低減を折込んで開発したタイヤ式路面切削機である。作業機構は独特のアップカット式ドラムカッタ、高効率加熱装置、発塵を有効に抑制する散水装置を装備している。切削幅 1,250 mm、切削深さ 0~80 mm で 40~460 m²/hr の切削能力があり、次のような特長を有する。

- ① すぐれた平坦性
- ② 切削屑回収が簡単
- ③ 振動、騒音、発塵が僅少
- ④ 経済的な高効率ホットカット式
- ⑤ すぐれた操縦性、機動性